

5-ALA ニュース

No.4

5-アミノレブリン酸(5-ALA)を経口給与された黒毛和種の精液性状

神戸大学 原山 洋 教授との共同研究(第125回 日本畜産学会)



■ 材料および方法

材料 黒毛和種 雄牛 37頭(対照区14頭、試験A区12頭、試験B区11頭)

方法 ●試験期間 12~14ヵ月齢

●試験区分 対照区 : 5-ALA未給与による飼養管理

試験A区: 初回採精時から5-ALAとして100mg/日を連続給与

試験B区: 初回採精の1ヵ月前から5-ALAとして100mg/日を連続給与

●検査項目 精子活力(活発な前進運動(+++))を示す精子の割合、精子奇形率

結果① 採取時の精液性状

区分	採精頭数	延採精回数	採取量(ml)	精子濃度(億個/ml)	採取時精子活力(+++)の割合(%)	採取時精子活力+++70%以上	採取時 [*] 合格頭数
対照区	14頭	312回	3.1 ^A	10.0 ^a	56.2 ^a	43.3% ^A	64.3%
試験A区	12頭	157回	3.1 ^A	7.6 ^b	61.6 ^b	62.4% ^B	91.7%
試験B区	11頭	128回	2.8 ^B	7.6 ^b	62.0 ^b	63.3% ^B	81.8%

異符号間に有意差あり AB:P<0.05、ab:P<0.01

^{*}採取時合格頭数:精子活力+++70%以上の精液が5回以上採取できた雄牛の頭数

結果② 凍結融解後の精液性状

区分	検査回数	凍結融解後精子活力(+++)の割合(%)	精子奇形率(%)
対照区	48回	37.2	10.8 ^a
試験A区	58回	35.3	7.0 ^b
試験B区	48回	35.1	4.8 ^c

異符号間に有意差あり P<0.01

雄牛への5-ALAの給与は、精子の奇形率を低下させ、活力を向上させる可能性が示唆された。



neopharma Japan



DSファーマアニマルヘルス